

長崎県五島市沖における協議会 (第6回)

○日時

令和7年2月12日(水) 10時00分～12時00分

○場所

五島市役所 2-A 会議室
(※はWEB会議を併用)

○参加者(※WEB参加者を示す) (構成員)

経済産業省 資源エネルギー庁	
新エネルギー課 風力政策室 室長	古川 雄一
国土交通省 港湾局 海洋・環境課	
海洋利用調査センター 所長	佐渡 英樹
農林水産省 水産庁	
資源管理部 管理調整課 計画官	森田 浩史※
長崎県 産業労働部 次長	井内 真人※
五島市 市長	出口 太
五島ふくえ漁業協同組合 代表理事組合長	片山 和彦
五島漁業協同組合 代表理事組合長	草野 正
奈留町漁業協同組合 代表理事組合長	大久保 金政
長崎県旋網漁業協同組合 専務理事	渡邊 孝裕
	(欠席)
長崎県旅客船協会 副会長	木口 利光
	(欠席)
NTTワールドエンジニアリングマリ株式会社	
担当課長	田島 泰士※
長崎総合科学大学 名誉教授・特命教授	池上 国広※
東京海洋大学 名誉教授	松山 優治
五島フローティングウィンドファーム合同会社	
戸田建設株式会社 職務執行者	牛上 敬

(オブザーバー)

環境省 大臣官房 環境影響評価課 課長補佐	山田 陽巳※
-----------------------	--------

○議題

(1) 事業の進捗状況について

- 五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社より、資料3（事業の進捗状況）を説明。

農林水産省水産庁

- 漁業影響調査について、漁業者からの意見や意向などに対して、どのように対応しているのか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 漁業影響調査について、何度か漁協へ訪問して、様々な意見や意向などを伺っているが、漁業者にとっては、自身の貴重で大切な漁場に関係することでもあり、全てのこと示していただくことは難しいとの意見もある中で決められた調査方法となる。
- 今後も様々な意見あるかと思われるが、示している調査方法に基づき進めていくことで考えている。

農林水産省水産庁

- 引き続き、緊密、丁寧コミュニケーションを取りながら進めていただきたい。

五島漁業協同組合

- 設置工事は天候に左右され、遅れが生じた場合などは、直ぐに報告いただくなど、状況については、随時、必要以上の報告をいただいているため、特段の問題、意見は無い。

長崎県（事務局）

- 当県としては、設置工事において、地元企業の参画が円滑に進められているかが、気になる点であり、当初の予定通り進んでいるか確認したい。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 設置工事について、浮体の再構築により、時間を要しているが、都度、地元の企業、船舶なども含めて利用させていただいている。
- 工程が延びたことで、様々な調整が必要となる状況も生じたが、全

面的に協力をいただき、来年からの運転開始できるよう工事が進められており、地元の協力により、現在の状況に至っている。

東京海洋大学（副座長）

- 漁業影響調査についての有識者からの意見の中の、自然環境の変化と風車建設の影響の峻別について、温暖化の影響で魚の生息域が大きく変化しているなどの状況もある。それと自然環境の変化と風車建設の影響の峻別は非常に難しく、大きな課題であるとの認識であるが、事業者としての考えはあるか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 当該意見については、真摯に受け止めており、実証事業で柗島に設置された 1 基の風車においては、魚が集まっている状況などを確認しているが、本事業では複数の風車が設置され、海域が異なる。また、漁業者からも潮の流れが変わる可能性があるなどの意見なども示されており、漁業影響調査については、どのような調査を行うのかも含めて、慎重に進めていく。
- 有識者からも、自然環境の変化と風車建設の影響の峻別については、今まで行われた事例がないこと、魚が集まっていることは必ずしも良い影響とは限らないことなどの意見も伺っており、今後、詳細に確認していきたい、ご指導のほど、よろしくお願いします。

東京海洋大学（副座長）

- 有識者の意見を十分に参考にしながら進めていただきたい。

（２）振興策の実施状況について

- 五島市より、資料４（振興策の実施状況について）を説明。

東京海洋大学（副座長）

- 基金の透明性の確保について、協議会において多くの議論を重ねてきたが、透明性については良く確保されている。

五島市

- 基金の活用については、漁協、事業者と緊密に連携しながら、予算

計上を行い、議会にも諮っており、今後も透明性が確実に確保されるよう進めていく。

五島漁業協同組合

- 基金の活用について、透明性の確保は必要であるものとは考えているが、柔軟な利用ができない点は残念であると感じているのが正直なところである。

奈留町漁業協同組合

- 漁業振興策について、最も影響が大きいのは、旋網漁業であり、操業状況、漁場などの状況は毎回記録をして分かるようになっており、漁船保険に次いで、旋網漁業に対する振興を優先的に行いたい。

五島ふくえ漁業協同組合

- 漁業振興策について、組合員の高齢化が進んでおり、漁業者において資金の借入れが難しいケースもあることから、漁船のオーバーホール修繕経費を補助して、頑張ってもらおうとの考えで進めている。

長崎総合科学大学（座長）

- 漁業振興策について、補助の条件等に示されている正組合員と准組合員はどのように区別しているのか。

五島漁業協同組合

- 水揚げ状況によって、区別しており、漁業振興策との観点から、補助などについては始まったばかりであり実績はないが、水揚げ状況に応じて、対応していかざるを得ない面があるものと考えている。
- 水揚げ状況に応じたとしても、将来性がある漁業者に対しては配慮も必要でもあり、そのような中で透明性を確保しながら進めていく必要があり、大変難しい課題であるとの認識である。

長崎県（事務局）

- 地域振興策における、中学生国外体験学習事業について、将来の子供たちへの人材育成・投資との観点から、素晴らしい取組みであり、地元の希望などに繋がる取組みであるものと考えている。

長崎総合科学大学（座長）

- 中学生国外体験学習事業について、参加者が個々で負担する参加費用を教えてください。

五島市

- 自己負担として5万円の参加費をいただいている。

（３）まとめ

東京海洋大学（副座長）

- 五島フローティングウィンドファーム合同会社と五島市においては、引き続き検討や対応を進めていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 今後の協議会の進め方について、協議会は、事業の進捗等を確認するために少なくとも年１回は開催することとしている。
- 次回の協議会については、今回と同様に、五島フローティングウィンドファームからは事業の進捗状況、五島市からは振興策の実施状況を伺うことなどを主な議題として、開催したいと考えている。
- 具体的な時期については改めて調整させていただきたく、引き続きよろしくお願いします。

長崎総合科学大学（座長）

- 事務局及び五島フローティングウィンドファーム合同会社においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上